

道徳教材 教科書の教材を複数の視点から捉える さらに有効な教材を追加する

小学校は今年度より(中学校は来年度から)「道徳教科書」の使用が始まりま

した。私たちは、「道徳の教科化」に反対しつつも、教科書を使用する際に次のような実践が必要だと考えています。

教科書の教材を複数の視点から捉え、
きまりを守って
いないのは誰？

中3の教材「元さんと二



「赤ちゃんポスト」のイメージ

(前略)たとえば、ドイツのバルトフリーデ病院の赤ちゃんポストに子どもを預けにきた母親は、赤ちゃんを清潔で気持ちのよさそうなベッドに置くときに、次のような手紙を受け取る。

赤ちゃんのお母さんへ。

あなたが赤ちゃんを預けたのは、決して軽い気持ちからではないことを、私たちは十分に知っています。私たちは力の及ぶ限り、あなたの赤ちゃんのお世話をさせていただきます。どうか安心してください。

もし、もう一度、赤ちゃんを引き取りたいときは、いつでも連絡してください。一緒に暮らせるよう、喜んで

でお手伝いをします。

そのために、この手紙をしっかりと持っていてください。手紙の中に記されている番号は秘密の番号です。あなたと赤ちゃんだけのための番号です。あなたが赤ちゃんの母親であることの証しです。いつか子供が大きくなって、「お母さんが誰か知りたい」と、そう願ったときの大切な手がかりです。

最後に、お子さんに伝えたいことがあれば、いつでもご連絡ください。喜んで伝えるお手伝いをします。お元気で。(NPO法人円ブリオ基金センター 訳)

もう一通、これもドイツ

通の手紙」は、新指導要領では「遵法精神、公德心」の教材です。動物園の模範的職員だった元さんが、幼い姉弟への同情心から規則に違反して二人を入場させた結果、園から解雇されるという内容で、「二通の手紙」とは姉弟の母からの感謝の手紙と解雇通知を指します。

指導書は、きまりを守らなかつた元さんへの評価を主題としますが、解雇通知は妥当な処分なのかとの視点も大切です。弱い立場の労働者である元さんよりも、強い立場にある雇用者の園のほうにこそ、「法を守る」「強い義務があります。この解雇通告は、「雇用のルール」に違反します。

のNPOシュテルニパルクの赤ちゃんポストの手紙を紹介しよう。

お母さんへ。

だれにでも助けが必要なときがあります。今あなたは助けが必要なのではありませんか。よければいつでも相談に乗ります。産後の経過はどうですか。私たちの助産士をいつでも利用してください。私たちはドイツ中の医者や病院を知っています。匿名で、無料で診てもらうことができますよ。

あなたの赤ちゃんは病院の検査を受けたあと、8週間、里親のもとで愛情をもって保護されます。その8週間の間に、あなたは子供をどうするか決めることができます。

(井上ひさしエッセイ集「ふふふ」掲載の「母への二通の手紙」より抜粋)

(後略)

時間はすべての傷を癒すことはできませんが、それでも少しは癒してくれるはずです。あなたが望むなら、私たちのところで赤ちゃんと一緒に匿名で、無料で住むこともできますよ。

赤ちゃんの写真がほしいときは電話してください。私たちはあなたと一緒に問題を解決するために24時間ここにいて、いつでもあなたのもとに駆けつけます。

あなたの幸せをお祈りしています。どうか、がんばってください。

さらに有効な教材を追加する
生命を尊重して
いるのはどっち？

左上の文章は、慈恵病院から出された「あかちゃんポスト」の設置申請を熊本市が許可した時に書かれた井上ひさし氏(2010年死去)のエッセイ「母への二通の手紙」です。彼はこのエッセイを「目の前の赤ちゃんに何の手も打たず、ただエラソーにお説教をする国と、ひとことも責めることなく母子の健康を気づかう国と、どちらが『美しい国』なのか。もちろん、赤ちゃんポストを通して母と子を救おうとする国のほうがずっと『美しい国』に決まっている。」と締めくくっています。

新指導要領には「生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。」とありますが、この資料を追加すること、より思考が深まるのではないのでしょうか。